

◆**鎌倉市学校整備計画**…学校も次々建て替えの時期がやってきます

1 優先順位を判断する指標の設定について

(1) 整備区分

令和6年(2024年)3月に策定した「鎌倉市学校整備計画」において、築年数に基づき整備区分を3つに分類しています。

【区分A】	～令和23年度(2041年度)までに築70年となる建物を有する学校
【区分B】	令和24年度(2042年度)～令和33年度(2051年度)に築70年となる建物を有する学校
【区分C】	令和34年度(2052年度)以降に築70年となる建物を有する学校

《小学校》

	【区分A】	【区分B】	【区分C】
鎌倉地域	第一小、第二小	稲村ヶ崎小	御成小
腰越地域	腰越小	西鎌倉小、七里ガ浜小	－
深沢地域	深沢小、山崎小	富士塚小	－
玉縄地域	玉縄小	関谷小	植木小
大船地域	今泉小	大船小	小坂小

《中学校》

	【区分A】	【区分B】	【区分C】
鎌倉地域	御成中	－	第一中、第二中
腰越地域	－	腰越中	手広中
深沢地域	深沢中	－	－
玉縄地域	－	玉縄中	－
大船地域	－	岩瀬中	大船中

**点数化して整備順位を決めています ↓**

【区分A 整備順位】

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9
学校名	第一小	山崎小	腰越小	深沢小	玉縄小	深沢中	御成中	第二小	今泉小
評価点	20点	19点	15点	13点	12点	11点	9点	8点	6点

【区分B 整備順位】

順位	1	2	3	4	5	6	6	6	9
学校名	七里小	玉縄中	西鎌倉小	腰越中	大船小	富士塚小	関谷小	稲村小	岩瀬中
評価点	16点	15点	14点	9点	7点	6点	6点	6点	5点

【区分C 整備順位】

順位	1	2	3	4	5	6	6
学校名	手広中	第一中	植木小	小坂小	御成小	第二中	大船中
評価点	16点	10点	9点	7点	6点	3点	3点

ご存じの通り学校は避難所になっています。子ども達の環境整備は当然ですが、災害対応も考える必要があります。310億円で新庁舎整備している場合でしょうか？



我人に媚びず  
富貴を望まず

◆**鎌倉市議会議員長嶋竜弘**  
第194号5期目8号(9月号)(完全無所属)

メール: [kamakurasi@gmail.com](mailto:kamakurasi@gmail.com)

- ・稲小-成中-茅ヶ崎高校-和光大
- ・さいかや、東急ハンズ、西友
- ・道の駅パスカル清見店長など



政策三本柱

～命を守る・生活を守る、街を守る

文化・芸術を育み歴史を継承する～

「市民が安心して健康で楽しく幸せな毎日を過ごせるようにサポートする」

一見良く見える鎌倉市政、しかし松尾市政4期16年で鎌倉市は劣化の一途を辿っています。裏を覗けば鎌倉市役所組織は崩壊寸前で機能していない状態です。

身の回りの生活の問題で鎌倉市役所とやりとりした事がある方は、「**動かない市役所**」を実感しているのではないかと思います。

また、鎌倉市予算は大幅に増額になっていますが、**払った税金が一体どこに使われているのか？** 実感が沸かないのではないのでしょうか？ **市民サービスが他市より劣っている、** そう感じている市民の皆さんは多いと思います。

予算は無限では無い、**今優先すべき事業は何か？**

**新庁舎整備の前に山積みの課題解決を先にやるべきでは？**

- ・今必要な目の前の出来る事を一つ一つやっていく
- ・山積んでいる課題を一つ一つ解決する
- ・様々な事業は成果・費用対効果を検証し必要性を見極め予算を投じる

山積みの課題を解決するだけで財政的に大変な状況。

また、厳しい社会情勢と人手不足も深刻。

このままでは市民サービスは更に劣化していきます。

少しでも市政の劣化を食い止めなければなりません。

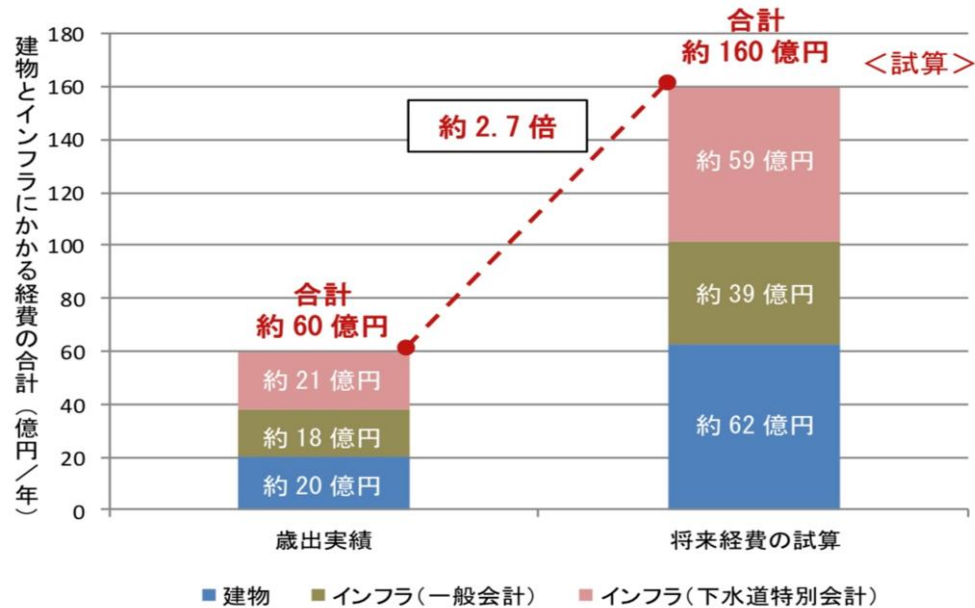
- ・議会との関係性の正常化
- ・崩壊寸前の市役所組織の立て直し
- ・インフラ&公共施設老朽化緊急対策
- ・命を守る防災
- ・山積みの課題解決



インフラ老朽化  
解説動画

◆**鎌倉市のインフラ老朽化は危機的状況！**

図表 建物とインフラの合計による歳出実績と予測結果の比較



◆**公共施設老朽化&インフラ老朽化増額経費**

建物とインフラにかかる歳出実績は約 60 億円/年(2017~2022 年・2013 年実績)  
今後約 160 億円/年の約 2.7 倍に膨れ上がる。

◆**市長提案の庁舎 2 拠点化方針とは？**

市長室・議会、総務・企画などの意思決定部門を現本庁舎に残し他部署を深沢に新庁舎を建設して移転。深沢へ異動予定の正規職員 850 人のうち 2 割が現庁舎に残る。

- ・災害時に市役所職員が継続的に安心して業務をするために必要と説明。
- ・深沢新庁舎整備費 170 億円。現庁舎建替は約 140 億円 = **計 310 億円**

グラフのとおり**公共施設とインフラ老朽化**で今後 40 年間毎年 160 億円の費用がかかるとの試算です。そして大型事業が目白押しです。物価高騰で公共事業は概ね 1.5 倍~2 倍に跳ね上がっています。**310 億円使って新庁舎を 2 っ整備するお金があるのでしょうか？現庁舎は十分使えるので修繕して使いましょう。**

◆**その他予定されている大型事業の予算…こんなにお金使う予定があります**

深沢地域整備事業費 264 億円、村岡新駅 43 億円、鎌倉漁港 54 億円  
 名越中継施設 54 億円、市営住宅 122 億円  
 浄化センターが耐震基準を満たしていない→耐震化に約 120 億円必要

◆**道路と下水だけでこんなにあります！**

図表 道路舗装の更新単価

	更新
一般道路	4,700 円/m <sup>2</sup>
自転車歩行者道	2,700 円/m <sup>2</sup>

図表 下水道の管種類別の更新単価

	更新
コンクリート管、塩ビ管等	12.4 万円/m
更生管	13.4 万円/m

◆**下水道**  
 汚水管渠→488km  
 25.2%が 50 年越え  
 →123km  
 →単価 12.4 万円/m  
 12.4/m×123km  
 →約 152 億 5200 万円  
 設置 50 年超えの下水管変えるだけで 152 億円も予算が必要です。

表 2-2 道路の管理数量

施設名	種別	路線数 (路線)	実延長 (km)	舗装延長 (km)	舗装面積 (m <sup>2</sup> )	備考
道路	車道	4,218	621.1794	468.3181	2,376,334	
	1 級市道 <sup>1</sup>	22	43.3760	42.7670	366,094	
	2 級市道 <sup>2</sup>	51	48.5015	47.7585	296,033	
	その他市道	4,145	529.3019	377.7926	1,714,207	
	歩道	173	56.8590	-	-	

表 2-26 下水道・終末処理場の管理数量

施設名	種別	数量	備考
下水道 (汚水)	汚水管きよ	488km	
	下水道終末処理場	2 箇所	
	中継ポンプ場	7 箇所	
	汚水低地排水ポンプ	57 箇所	
下水道 (雨水)	雨水管きよ	237km	開きよ、矩形きよ、台形きよを含む
	雨水低地排水ポンプ	10 箇所	
	雨水ゲート	8 箇所	
	雨水調整池	7 箇所	容量: 25,100 m <sup>3</sup>

道路橋 200 橋、ペDESTリアンデッキ 2 箇所、歩道橋 7 橋、街路樹 47358 本  
 エレベーター 5 基、エスカレーター 4 基、道路トンネル 19、道路地下道 2  
 カーブミラー 1736 基、街路照明灯 1264 基、ガードレール 16188m

八潮市道路陥没事故について大野知事は市長会議で、当面の復旧に 300 億円規模かかると述べてます。鎌倉市もインフラ老朽化は対応が必要です。